

登録日時	2009 7/17	登録番号	024
行動 チーム名	水のいのちものづくり中部フォーラム		
行動主体	<p>【事務局代表】 (社)中部経済連合会(開発部 伊藤、水田 TEL:052-962-8091 FAX:052-962-8090 E-mail:mizuta@chukeiren.or.jp)</p> <p>【幹事会会員】 イビデン(株)、岡谷鋼機(株)、鹿島建設(株)中部支店、大成建設(株)名古屋支店 中部電力(株)、電源開発(株)、豊田通商(株)、日本ガイシ(株)、日本工営(株)名古屋支店 (株)日立プラントテクノロジー中部支社、丸紅(株)名古屋支社 三菱レイヨン・エンジニアリング(株)、メタウォーター(株)、(社)中部経済連合会 名古屋商工会議所、(社)中部建設協会、(財)名古屋都市センター 国立大学法人名古屋大学大学院工学研究科、経済産業省中部経済産業局、 国土交通省中部地方整備局、名古屋市(独)水資源機構中部支社 (財)河川環境管理財団名古屋事務所、(財)河川情報センター名古屋センター (財)リバーフロント整備センター岐阜分室、日本下水道事業団東海総合事務所 愛知県、岐阜県、三重県、静岡県</p> <p>【一般会員】(現在、募集中)</p>		
行動内容	<p>例えば、新興国では経済成長による水需要の拡大に対して、安定供給が難しい状況となっている。</p> <p>かつては我が国の中部地域も戦後の経済成長の中で、大洪水や高潮、渇水、地下水くみ上げによる地盤沈下、水質汚濁など、様々な危機を経験してきたが、水の分かち合い、先端技術の開発、社会基盤の整備などによってそれらの危機を乗り越えてきた。</p> <p>そこで、産・官・学が連携し、更には異業種の企業同士が連携することによって、中部地域の持つ水技術や水との関わりの経験から、世界の水問題解決に向けたビジネス・パッケージの検討を行うと共に、国内で実証実験等を行い、国際貢献を目的とした中部地域発のビジネス展開を行う。</p>		
課題分析	<p>○新興国における問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭や工場等からの排水により河川環境は著しく汚染され、良質な水資源の確保が困難である。 ・都市や工業地帯の急速な発展に伴い水需要は拡大しているが、十分な水資源が確保できていない。 ・上下水インフラは社会的、経済的な変化に対応しておらず、古くに整備された伝統的な水利用形態のままであり、漏水が激しく配水効率が悪い。 <p>○水メジャーとしての問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国は水の浄化技術など個別の技術では優れており海外でも活躍しているが、水供給に関わるシステム全体のマネジメントができていない。 ・地域への押しつけにならないよう、ニーズに適したビジネス展開が必要である。 		
留意事項	<p>課題に対するビジネス展開を念頭においたパッケージの検討を行い、実現の可能性があると思われるパッケージについて、ビジネス展開の主体となる企業連合体を形成し活動を行う。</p>		